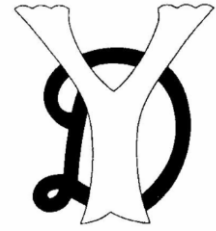


横浜市立

ろう特別支援学校



令和3年度学校便り No. 4

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

厳しかった猛暑が和らぎ、秋の風を感じる季節となりました。新型コロナウイルス変異株の流行などにより日々状況が変化中、しばらくの間この学校便りを発行することができなかったことをお詫び申し上げます。その間、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、毎日のように日本選手団の目覚ましい活躍が報道されました。子どもたちも、夢をもち、それを追いつけることの素晴らしさを感じることができたのではないのでしょうか。ろう者のオリンピックとしては「デフリンピック」があり、次期夏季大会は2022年5月にブラジルで開催が予定されています。大舞台で活躍する子どもたちを想像すると、わくわくします。

たいざんぼく

泰山木のある家

何かのきっかけで、自分の人生がガラッと変わることがあります。後になって振り返り「あの時が…」と思うこともあるでしょう。それほど大げさでなくても、ちょっとしたきっかけでのめり込み始める経験はだれにもあるのではないのでしょうか？



父を早くに亡くした私には、父親代わりの叔父（故人）がいました。叔父夫婦には子どもがいないこともあり、こじんまりした家に住んでいて、門から玄関に通じる小径の脇に巨大で幹の太い泰山木がそびえていました。夏には小径に白い大輪の花が一面に落ちていて、さながら別世界を歩く感覚を覚えたものです。

夏休みに元気であることの報告を兼ねて必ず泊まりに行っていました。テレビのない家で、夫婦は読書が楽しみだったようです。

ある夏休み（ろう学校中学部在学の頃と記憶しています）叔父の部屋の高架棚に並べてあった本の一冊を手に取りました。夫婦がそうであるように、私もそれを読んで過ごしました。読むにつれぐんぐんとストーリーの中に引きずり込まれていき、気づいたら一冊を読み上げていました。「こんなおもしろい本があるんだ！」と大発見でした。

本の題からして平易で理解しやすかったのも、手にしたのかもしれませんが、松本清張の不朽名作「点と線」だったのです。「殺人」とか「死体」とか、当時の私には生々しいことばだったでしょうが、東京駅東海道線ホームのシーンが身近に感じられ、夢中になれたのだと思います。後に社会派推理作家であること、推理小説というジャンルのあることを知りました。叔父の本棚には推理小説が他にもズラリと並んでいて、もう手当たり次第に読みました。読書中の本をチラッと見て「その犯人、教えてやろうか？」と彼はよく言ったものです。

「点と線」をきっかけに私の推理小説マニア（オタク？）が始まったのです。「砂の器」「黄色い風土」などほとんど読破しました。高じて、シャーロック・ホームズやエラリー・クイーンと広げ、浅見光彦シリーズに熱中するアサミストを任じています。

人それぞれで、「きっかけ」にいつどこで会おうか予想はつきません。しかし、自分で「きっかけ」をつかむことも出来るのではないのでしょうか？ 燈火親しむ頃…読書に限らず何かに夢中になれる「きっかけ」を探してみませんか？

叔父の家はかなり前に取り壊され、泰山木は伐られ、その跡に一戸建てが林立しています。あの夏をしのぶよすがはどこにもありませんが、「きっかけ」となった思い出は心の奥深くに刻み込まれています。

各部の便りから

—各学部の取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップして紹介します—

乳幼児教育相談

1歳になったAちゃんの記録です。「補聴器をしっかりつけて、声もしっかり出ています。言葉はわからなくても、動きやその場所に行って声を出しているのがしたいかわかるようになってきました。」補聴器を常時装着できるようになるまで、皆さん本当に苦労しています。Aちゃんがやりたいことをことばにして、大好きなママの声をたくさん聞かせてくださいね。

夏休みが終わり、いろいろなことができるようになった2歳児のBちゃんです。「ショッピングモールなど少し雑音がある場所でも名前を呼ぶと振り返ることが多いです。指示が通ることが多く、生活の中で困る事はほとんどないです。」お母さんの意図が伝わるようになり、とてもうれしいですね。お母さんからの発信をたくさん受け止めることで、Bちゃんからの発信も増えてくると思います。楽しみですね。

【乳幼児教育相談 「9月のお便り」より】

幼稚部

ようやく涼しくなり秋の気配が感じられるようになりました。長い夏休み明けでしたが、子どもたちは学校の流れをよく覚えていてスムーズに日課を再開することができました。夏休み明けの子どもたちは、言葉の面でも行動の面でも成長を感じ、たくましく思います。子どもたちに絵や工作についてきくと、自分からいろいろお話をしてくれました。ご家庭での丁寧な関わりや楽しい夏休みだったことが子どもたちの様子から伝わってきました。

だんだんと季節が変わっていきます。気温や服装の変化（涼しくなる、上着を羽織る）、秋のおいしい食べ物、秋の虫などこの機会にしか経験できないことを取り上げご家庭でもお話してみてください。まだ季節の理解は難しいと思いますが、今から季節にちなんだ活動をして一緒にお話することが来年再来年へとつながっていきます。物の名前だけではなく、色や形、食べ物なら調理するところを見せたり、匂いや味などそのものにまつわることもお話したりすることで概念が豊かに育っていきます。

9月17日（金）はお月見会をします。ご家庭から秋のものを持ってきていただき、製作物のお団子を作って月にお供えなどをする予定です。月や秋に関するお話を学校でもしていきたいと思いますので、ぜひご家庭でも一緒に夜空を見上げてみてください。



【幼稚部1年「つくしつうしん」より】（毎回学年・クラスを変えて紹介します）

小学部

夏休み中のことをうれしそうに話す子どもたちの姿を見ると、コロナ渦でも楽しく夏休みを過ごせたようで安心しました。オリンピックやパラリンピックをテレビで観戦した子どもたちもいたようでした。一生懸命競技に参加していた選手の姿は、子どもたちの心にきっと何かを残してくれたのではないのでしょうか。やってみたいスポーツが見つかった子どもたちもいたかもしれませんね。

夏休み中から新型コロナウイルス感染者数が増大し、子どもたちへの感染も広がってきたようです。マスクも布やウレタンのマスクより不織布のマスクの方が感染予防の効果が高いようです。できるだけ不織布のマスクをお願いします。今後も今まで以上に感染予防対策をとりながら、様々な活動を行うようにしていきますが、状況によっては、予定変更などがあるかもしれません。学校からの配布物、メール配信等を必ず確認してください。また、ご家庭でも感染予防や健康観察など引き続き徹底していただきますようお願いいたします。

夏休みの宿題

それぞれの学年で夏休みの宿題が出されたと思います。それと並行して、子どもたちが苦手としている学習やもっと知りたい学習などを親子で話し合いながら、「夏休みは、〇〇ができるようになるろう!」「もっと〇〇について調べてみたい!」「〇〇をつくってみたい!」など何か課題を見付け、取り組むことができたでしょうか。自分で学習課題を見付ける力をもてるとよいです。学年が上がるほど自分で学びを深める力が必要になってきます。今後もこのように自分で課題を見つける機会を意図的につくれるとよいと思います。

【「小学部便り」より】

中学部

前期終業式まであと3週間ほどとなりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、前期に予定されていた行事の中止や変更などが多くありましたが、生徒たちは気持ちを切り替えて、これからの代替行事などに向けて意欲的に活動している毎日です。期末試験も無事に終わり生徒の表情にも安堵感がみられます。生活面と学習面の両方について改めて前期を振り返り、後期の課題を整理してほしいと思います。

3年職場体験が終わりました

毎年7月下旬～8月上旬に、3年生は3日間の職場体験を行います。今年は福祉事業所や企業、国大の食堂、スポーツ施設、コンビニエンスストアなどで職場体験を行いました。報告会では、各自が体験実習先で学んだことを、「仕事内容」「仕事で大変だったこと・がんばったこと」「1、2年生へアドバイス」などの項目にまとめて発表がありました。会話（コミュニケーション）の工夫、長時間同じ作業をする忍耐力、作業に取り組む際の集中力などの大切さについて、具体的な体験を通して話していました。「1・2年生へのアドバイス」で特に強調されていたのは、「わからないときには質問をする」ことでした。教えてくれるまで作業を止めたり、わからないまま勝手に作業を続けたりすることは、多くの人に迷惑をかけてしまうので、すぐに質問するようにと繰り返し話がありました。3日間という短い間でしたが、体験を通して多くのことを学ぶことができたようです。実際に社会へ出るのはまだ先ですが、将来に向けてどのような力を身に付けておくことが大切なのかが分かったと思います。それらを今後の学習活動に生かしてほしいと思います。

道徳【敬老の日】高齢者疑似体験【9/16】

高齢者にどんなお手伝いができるかを考えるために、学年ごとに高齢者疑似体験を行いました。膝や肘の可動域を制限するサポーター、重りを付けた足首サポーターやベスト、感覚を制限する手袋、視界を制限するゴーグルなどを着用して、廊下や階段を歩く、トイレに腰かける、字を書く、豆を箸でつまむなどの体験をしました。膝や肘が自由に動かないことでしゃがむ姿勢や階段の上り下りに苦労した生徒も多かったです。いずれは皆高齢者になります。この世の中は助け合いで成り立っていることを理解する良い機会となりました。



【「中学部だより」より】

高等部

夏休みが終わりました。昨年度は、6月まで臨時休校だったため、およそ2週間の短い夏休みになりました。今年度は、3日ほどの臨時休校が加わり、平年よりも長い夏休みでした。夏休みの間に、1年生は神奈川能力開発校や企業・福祉施設への見学、2年生は職場実習、3年生は登校日を設けて進路やときわ祭の準備をしてきました。また、教科担当による「学習支援」や自主的な学習を応援する「校内学習」を行いました。しかし、8月2日に、緊急事態宣言が神奈川県に発令されたことで、様々な制限を受けることになりました。残念なお知らせになりますが、3年生の日帰り遠足の中止、9月22日の生徒企画の延期が決まりました。ときわ祭も、通常の形で開催できるかどうか分からない状況です。

何よりも健康であることが大切ですので、気持ちを切り替えて、これまでの話し合いや準備をしてきた“経験”を次の機会に生かしてください。それぞれの思いがあるでしょうが、逆境にいるからこそ、この状況を楽しむことができたらいいですね。そして、これらの経験を将来へのエネルギーに変えていきましょう。

皆さんに書籍の紹介をします。丸山正樹の「わたしのいないテーブルで ～デフ・ヴォイス～」です。サブタイトルのデフ・ヴォイスとは、“ろう者の声”という意味です。この本はシリーズ化されており、「デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士」、「龍の耳を君に」、「慟哭は聴こえない」に続く第4弾です。

『コロナ禍の2020年春、手話通訳士の荒井さんのもとに、ある事件の支援チームへの協力依頼が来る。女性ろう者が、口論の末に実母を包丁で刺した傷害事件だった。』この物語は、コロナ禍でのろう者の苦悩、家庭でのろう者の孤独をテーマに描かれています。聴覚障害者の歴史について触れている部分がありますので、自己理解のために読んでみてはいかがでしょうか。

【「高等部だより」より】

		10月の行事	PTA
1	金		
2	土		
3	日		
4	月	幼:ときわ祭説明会、誕生会、手話勉強会	PTA推薦委員会
5	火	幼稚部:交流 高等部:日検日本語ワープロ検定	
6	水	中学部説明会 中学部:水早下校	
7	木	歯科検診	
8	金	幼・小:13:30下校 中・高:英語検定②一次	
9	土		
10	日		
11	月	前期終業式 給食無し 下校時刻変更	
12	火	後期始業日 幼・小:下校時刻変更	
13	水	幼稚部:マリノスサッカー教室	
14	木	幼:交流 小学部説明会(外部) 小5:校外学習 高:日検情報処理技能検定	
15	金	幼稚部:身体計測 小6:遠足	
16	土		
17	日		
18	月	教育相談 幼:ときわ祭の話、保護者講座 中・高:読字力検定②	
19	火		PTA運営委員会
20	水	幼稚部:運動遊び 小・中・高:歯みがき指導	
21	木	幼稚部:交流 小・中・高:小中高連絡会	
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	幼稚部:保護者講座 中3:進路面談	
26	火		
27	水	幼稚部:運動遊び 小・中・高:歯みがき指導 中学部:水早下校	
28	木	臨床相談 幼稚部:交流	
29	金		
30	土		
31	日		

お知らせ

○9月末で緊急事態宣言が解除されることになりましたが、お知らせしていますように、本校は12月末までこれまでの時差登校、短縮時間割を継続します。今後の状況によっては変更になることも考えられますが、その際は改めてお知らせいたします。子どもたちの安心と安全を最優先に考えた対応について、ご理解とご協力をお願いいたします。

○今年のときわ祭は、学部ごとの発表・鑑賞となります。大変申し訳ありませんが、各ご家庭からの参加人数についても、制限させていただきます。それでも、子どもたちは本番に向けて張り切って練習を始めています。様々な行事が中止や延期となる中、練習の成果をしっかりと発揮できる場となってほしいと願っています。

○聴覚障害者教育福祉協会主催の全国ろう学校絵画展で、高等部1年柳下さんの作品が佳作に入選しました。前期終業式で作品の紹介と表彰状の授与を行う予定です。

